

## 活動記録(2023年下半期) ~出席した主な公務や地域行事など~ (個別の面談や訪問、会合などは除いています)

7月

- 小竹南良津獅子舞・福岡県看護連盟 通常総会
- 貝島百合野山莊の保存と活用を考える市民の会 総会
- 宮若市自治会長会 総会懇親会
- 農林水産委員会 正副幹事会、県庁鞍陵会 役員会
- 福岡県ビルメンテナンス政治連盟 北九州地区 懇親会
- 筑豊地区私立幼稚園P.T.A.連合会 役員総会
- 自民党県議団 災害本部
- 農林水産委員会 管内懇親会(～13日)
- 直轄議会議長連絡協議会
- 自民党県連 総務会、小竹祇園山笠
- 自民党県議団、県連 延岡地区被災地視察
- 県道沿石田石丸線 道路改良事業 地元説明会
- 天照宮 誉祭
- 郡民野球大会、宮若市花火大会
- 鞍手町同和問題講演会
- 北九州地方・家庭裁判所本庁昇格期成会 総会
- 麻生太郎 宮若市・鞍手郡後援会 役員懇親会
- 宮田企業交流会 納涼大会
- J.Cまつり 2023
- 西川改修期成会議
- 自民党福岡 10区支部長候補選考街頭演説会

8月

- ちょくら未来づくりラボ 開講式
- 福岡県料飲生活衛生業者業組合 研修交流会
- 松尾統章 自民党県議団会長 就任祝賀会
- 県議会棟、福岡 10区支部長候補選考街頭演説会
- 福岡 10区支部長候補選考街頭演説会
- 鞍陵祭
- 宮若市水難事故防止協議会(オブザーバー参加)
- 自民党県連 総務会
- ちょくら未来づくりラボ@大和ハウス九州工場 小竹町後援会 役員会
- 大鳴川みどりの会 定期総会
- 自民党県連、青年局合同会議 要望
- 育て支援・人財育成調査特別委員会
- 果樹振興議連 現地視察@八女市・うきは市 自民党宮若・鞍手郡連合支部 役員会
- 鞍手町後援会 役員会
- 九州各県議会議員懇親野球大会@宮崎県
- 山口読書会 40周年のつどい
- 地域交通、北下・洋上・J.R讀書会 合同管外視察(～31日)

9月

- 県議会 代表者会議、県議団 議員総会
- 福岡県総合計画審議会
- 戸内勇夫氏 FAVA 会長就任・ワンヘルス特別賞受賞
- FAVA・ワンヘルス福岡オフィス開所 記念祝賀会
- 宮若市後援会役員会
- 定例会(会議:開会式)
- 筑豊地区商工会と地元選出県議との懇談会
- 鞍手高校 大運動会、直方高校 体育祭
- 若葉会 発足式
- 定例会(草案日)
- 定例会(草案日)
- 定例会(草案日)
- 定例会(会議:代表質問)
- 定例会(会議:代表質問)
- 定例会(会議:代表質問)
- 万年願 平八月まつり
- 池坊巡回講座
- 宮若全国俳句大会 表彰式
- 定例会(会議:一般質問)
- 定例会(会議:一般質問)⇒花田質問
- 定例会(会議:一般質問)
- 定例会(常任委員会)
- 宮若ふるさと祭り
- 小竹ひがん花まつり、彼岸花ウォーキング
- 龜山社 秋季奉納、宮若ヒガンバナまつり
- 定例会(常任委員会)、県酒類鑑評会
- 定例会(常任委員会)
- 定例会(会議)、九州の自立を考える会 総会
- 木末親善・秋のつどい
- 定例会(決算特別委員会)
- 定例会(決算特別委員会)
- 香原勝司 議長就任祝賀会
- & SAKE FUKUOKA@福岡国際センター

## 各種ご案内・お願い

### 若者のネットワーク『若葉会』発足!

昨年夏に、若い世代の交流会『若葉会』を発足しました。主に45歳以下を対象としており、市町や業種を超えた同世代の交流・情報交換を目的とした組織です。年に数回の主催イベント(ご家族も含めた食事会、地域奉仕活動、講師を招いての勉強会などを予定)や地元商工・農業団体青年部主催の行事への相互参加を考えています。年会費等ではなく、基本はLINEグループに入会していただけになります。入会要件は特にございませんので、ご興味のある方はお気軽に事務所までご連絡ください!

### 『地域座談会』を順次開催してまいります

地域別(自治会規模を想定)での県政座談会を順次開催していきたいと思います。公民館などを借りて車座になり、私が一方的にお話しするのではなく、地域の様々な課題や皆様のご意見をお聞きし、それにお応えしていくというスタイルを考えています。事務所主催分はランダムに地域を選んで企画してまいりますが、自治会やグループで企画いただける場合は、優先的に日程を調整してまいりたいと思います。人数も特に「何人以上から」といったものはございませんので、皆様の生のお声をお聞かせください。



### 令和6年能登半島地震に関する被災者支援募金へのご協力のお願い

皆様も既に様々な形や場所で支援をしていただいていることだと思います。もし募金のご協力をいただける場合は、花田尚彦事務所に募金箱を設置しておりますので、よろしくお願い致します。また各自治体でも義援金箱が設置されておりますので、そちらもご利用ください。なお、花田尚彦事務所でお預かりした募金に関しては、「自由民主党福岡県支部災害支援募金(1月9日～3月25日の期間設置)」を通して全額、被災地に送らせていただきます。

※被災者支援に便乗した詐欺行為も発生しておりますのでご注意ください。

### プロフィール



#### 【主な歴歴】

- 1986年(昭和61年) 5月14日 小竹町生まれ O型
- 小竹町立 小竹南小学校・小竹中学校 卒業
- 鞍手高等学校 普通科 卒業(57回生)
- 北九州市立大学 法学部 政策科学科 卒業
- 衆議院議員 山本幸三 総秘(約10年)
- 福岡県議会議員(2021年6月28日～) 現在2期目
- 九州大学大学院 経済学府 修了(QBS 18期)

#### 【現在の主な役職】

- 自由民主党福岡県議団 副会長
- 農林水産委員会 副委員長
- 子育て支援・人材育成調査特別委員会 委員
- 自由民主党福岡県支部連合会 青年局長
- 農政懇話会 事務局長
- J.R九州福北ゆたか線活性化促進議員連盟 事務局長
- 福岡県総合計画審議会 委員

### 年賀状送付に関して

年始に年賀状をお送りいただいた皆様には誠に感謝申し上げます。本来であれば皆様にご返信をしたいところではありますが、公職選挙法により年賀状など時候の挨拶文の発送が禁じられており、この活動報告をもってお返事とさせていただきますことを、どうかご理解くださいますようお願い致します。

事務所案内 基本、平日9:00～17:00が開所時間です。(土日開所は週によります)

〒823-0003 福岡県宮若市本城 1108  
(本城交差点セブンイレブン横・とり坊主さん隣り)  
TEL: 0949-32-1191  
FAX: 0949-32-1192  
E-mail: n.hanada.fukuoka@gmail.com  
HP: http://n-hanada.jp



駐車場は正面3台です。

### 編集後記

本紙の編集も終盤に差し掛かっていた元旦、能登半島での地震のニュースが流れ、翌日には羽田空港での事故、更には私も秘書時代によく通った小倉の鳥町食道街火災と立て続いたため、新年をお祝いする旨の文言が始まる表紙の挨拶文をそのまま使用する気にはとてもなれず、全体的に編集の必要な箇所が出てまいりましたので、発行が遅くなりました。震災の被害状況は日を追うごとに明らかになり、寒い中で避難生活を余儀なくされている方々の報道を見る度に、日頃の平和が“当たり前”ではないのだと痛感します。次号が発行される今年の夏には復旧が一歩でも進んでいることを切に願います。

(花田)

※本紙は私が得た各種資料や調査結果をもとに作成しております。細心の注意を払っておりますが、情報に誤りや表現に不適な点がございました場合は事務所までご連絡くださいませ。

福岡県議会議員  
宮若市・鞍手町・小竹町 選出

# はなだ 花田 尚彦

2024年1月  
令和6年1月

6号



## ピックアップ 一災害やコロナを乗り越えて

### 令和5年梅雨前線豪雨 被災地視察

7月初旬に発生した大雨を受け、7月17日に自民党県議団・自民党県連役員メンバーで、特に被害の大きかった県南地域を視察しました。被災地の状況も鑑み、東峰村のBRT専用道、朝倉市の赤谷川(写真①)、久留米市田主丸町の千之尾川(写真②)と田主丸中央病院(写真③)、同市北野町の桜グラノフェルム(写真④)を訪れましたが、実際に現場に出向くことで、発災時の深刻さや復旧・防災の課題をより具体的に理解することができました。



①平成29年の九州北部豪雨被害から復旧した護岸が再度崩壊

### 福岡県ワンヘルス認証商品の販売

ワンヘルスの理念に沿って生産された農林水産物などで「生態系の安全」「温暖化の防止」「人と野生動物の共存」「環境負荷の低減」「食育・花育活動」「地産地消の推進」といった取組事項のうち、2つ以上を実践することを要件として認証された商品です。認証を取得している生産者・団体や農林水産物・加工品は専用ホームページで検索し、ご覧いただけます。店頭でお見かけの際はぜひご検討ください。



認証ロゴマークシール

### 各地で催しが復活開催!

新型コロナウイルスの影響で数年間、各地の祭り・イベントが中止や規模縮小を余儀なくされました。昨年5月から感染症法上の位置づけが5類へと移行されたことなどから、夏以降は多くの催しが従前の形で開催されました。私自身、初めて参加したものも多くありました。県内の伝統・文化・コミュニティを守り形成していく点で、どれも重要な行事であることを改めて体感致しました。



## ご挨拶

新年を迎え、多くの方が新たなスタートを心にされていたであろう元旦の16時10分に、能登半島を震源とする最大震度7の地震(それに伴う津波や火災)の発生が報じられました。被害の状況は1月末時点での死者数が230名を超え、安否不明者もまだ十数名おり日夜懸命な捜索が続いています。そして家屋被害は4万6千棟を超え、1万4千人以上の方々が今なお避難生活を強いられています。また、発災翌日には羽田空港滑走路で救援物資を被災地に届ける予定であった海上保安庁の航空機が着陸した旅客機と衝突し炎上するという衝撃的な事故が起きました。奇跡的に旅客機の全乗客・乗員379名は助かりましたが、海保機の方は機長(重傷)を除く5名が亡くなりました。そして続く1月3日には、小倉北区魚町の鳥町食道街で大規模な火災が発生し、35店舗・約2,900㎡の範囲が焼失していました。ここには私も秘書時代によく食事に伺っていただけに残念でなりません。これらの災害・事故でお亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り致しますとともに、被災された方々やご関係の皆様にお見舞いを申し上げます。季節柄、厳しい寒さや感染症の拡大が心配であり、一刻も早い生活環境の改善や瓦礫の撤去・道路の復旧が望まれます。

これらが進まないことは災害ボランティアや物資を多く行き渡らせることができませんので、今はまだ最前線で対応に当たられている方々にご奮闘いただき、我々福岡県も過去の西方沖地震や毎年続く大雨被害の際には国内外の多くの地域からご支援をいただきましたので、まずは募金などのできる支援から進めることが大切であると思います。また、被災地のみならず我々も日頃から災害に対する備えを十分にとっておくことこそが、何よりも将来被災者になるかもしれない自身への最大の支援にも繋がります。そして先行き不安の状況は、災害や諸外国の紛争だけでなく、日本国内の政治にも言えます。昨年末から続く永田町の政治資金問題は、派閥の会計処理の杜撰さや慣習に対する説明責任が問われていたのですが、地方議員も同様に政治献金自体に対して厳しい目が向けられています。しかし、地域廻りや会合出席、活動報告の発行などを真面目に丁寧に行う議員ほど、活動費が積み重なってしまうのが現実です。あらゆる献金を禁止にすべきとの声を耳にすることもありますが、そうなれば議員のパフォーマンスは減り、資産家や時間に余裕のある人しか議員になれない状況が増す恐れがあります。無論、まずは我々現職が襟を正していくのは当然ですが、将来有能な候補者をいかにして輩出していくかということも、真剣に考えていくべき段階に来ていると私は考えます。

福岡県議会議員 花田尚彦



テレビCMも放映

## 9月定例会 一般質問

9月20日(水)『水難事故防止について』 知事・県土整備部長・教育長

**【花田】**  
7月21日、宮若市で小学6年の児童3名が川で溺れ亡くなるという大変痛ましい水難事故が起った。現場は犬鳴川と県管理河川である山口川が合流する付近で、水深3mもの急激な深みになっていた。今回の事故を受けて、8月8日に「宮若市水難事故防止協議会」が発足され、市と国交省遠賀川河川事務所をはじめ、県土整備事務所や学校・消防・警察・自治会関係者らが意見を交わし、危険箇所の整理や現地調査を経て必要に応じて立て看板や立ち入り禁止措置を行うとともに、テキストなどで啓発・教育を行っていくこととなっている。

まず、今回の事故を踏まえ、県は河川管理者としてどのような水難事故防止の取組を行っていくのか知事にお尋ねする。

一方で、子ども達にとっては水や生物・植物といった自然環境に親しみをもつてもらうことができる大切な空間ということで、河川や海での遊びが全て否定されるわけではない。水辺に背を向け離れていくのではなく、川と向き合っていくことも必要ではないか。親水性のある河川整備は今後もさらに進めていくべきであると考えるが、知事の見解を伺う。

多くの自治体では、河川等において水の事故から子どもの命を守るためにライフジャケットの着用に関する取組が行われており、実際に河川での水難事故は、放課後や休日に起こることもある。家庭に対する啓発がとても重要である。福岡県においても家庭へ強く啓発していくべきであると考えるが、教育長の所見を伺う。

ライフジャケット等は子どもだけでなく、もちろん大人も着用が求められるものである。とりわけ、安全教育を指導する学校の教員自身が着衣水泳やライフジャケットの着用を経験することには必ずあるとも言えるが、着衣のまま川や海の中へ入ったことがある教員やライフジャケットを所有する教員はむしろ少数派ではないだろう。(ライフジャケット着用の取組を推進している)香川県の事業報告書にあるアンケートでは、「自分自身が着衣水泳を経験したことがない」と回答した教員が44%、「ライフジャケットを着用して水の中に入ることがない」と回答した教員は29%であったそうである。また、児童の間でも着用することが「恥ずかしい」「格好悪い」という感覚があるとも言われるので、まずは指導を行う立場の教員が率先してライフジャケットの着用を体験することが重要である。そこで教育長にお尋ねするが、我が県の教員も着衣水泳やライフジャケットの効用を体験できる幅広い機会を創設・拡充していくべきであると考えるが、見解をお聞かせ願う。



我が家も大人用と子ども用を買い備えました。香川県では過去に同様の水難事故があり、企業等からの寄付でライフジャケットの普及が進んでいるそうです。「着用が当たり前」の意識醸成に、私も取り組みます。

## 12月定例会 一般質問

12月12日(木)『スタートアップ支援とアントレプレナーシップ教育について』 知事・商工部長・教育長

## 【はじめに】

## 『スタートアップ』とは??

革新的なアイデアで短期的に成長する企業のこと。設立10年以内の企業価値10億ドル超の非上場企業を「エニコーン」と言い、最も多いアメリカで約640社、次ぐ中国で約170社に対し、日本は12社ほど。さらに世界には100億ドル超の「デカコーン」や、1,000億ドル超の「ヘクトコーン」と呼ばれるスタートアップがある。

日本国内では直近8年間で投資額が約9倍に増えたが、世界的なスピードには遅れを取っている。

## 『アントレプレナーシップ』とは??

起業家の考え方や行動を指す言葉で「新しい価値を創造しリスクを許容しながらやり切る精神・姿勢」や「個人が現在をコントロールできる資源に捉われることなく機会を追求するプロセス」などとされる。よく「起業家精神」と訳されることがあるが、単に「起業や経営に必要な力」というよりも、「常識に捉われずに革新的な価値やアイデアを生み出し行動する力」といった方がよいかもしれません。

**【花田】**  
今回のアメリカ・ボストン訪問から得られた成果と、それを踏まえた今後の取組について知事にお尋ねする。加えて、今後、日本国内外のスタートアップから、関東圏でも関西圏でもなく、この福岡県が選ばれるためには、世界的なスタートアップ支援機関であるCICの福岡進出は極めて重要であると考える。福岡県でなければならぬという強い説得力を打ち出していくために、CICの福岡進出を機に県はどのように連携していくのか。知事のお聞かせ願う。また、アントレプレナーシップはにも民間企業だけに必要なものというものではない。様々な社会課題に一番接しているのは行政職員の皆様であるので、県職員の中でもアントレプレナーシップは必要だと考えるが、MIT<sup>2</sup>訪問を踏まえた知事の考えをお聞かせ願う。

教育長にお尋ねするが、アントレプレナーシップ教育についてどのような見解をお持ちか。また、福岡県の学校教育において、アントレプレナーシップ教育に繋がる取組は行われているのか。今後の意気込みも含め答弁をお願いする。



## 【服部知事】

お亡くなりになったお子様方に哀悼の意を表すとともに、御遺族に対し心からお悔やみを申し上げる。県ではこれまで水辺公園などの親水施設に川の危険性を示す看板を設置し、利用者の皆様に対し注意喚起や、川で遊ぶ際の注意点などを記載したガイドブックを県のホームページに掲載し、川の安全な利用方法の周知を行っている。あわせて、子供たちを対象に毎年県内の六つの河川「ふくおか水辺の安全講座」を開催し、カヌー体験などを通して安全意識の啓発を図っている。引き続き、これらの取組を進めるとともに、今回のような痛ましい事故が繰り返されないよう、川の利用状況や危険箇所を地元自治体の皆様と連携し調査をした上で、ピクトグラムを活用した分かりやすい注意喚起の看板を新たに設置するなど、水難事故防止の強化に努めています。

次に親水性のある河川整備について、親水性のある河川整備は地域のにぎわいや憩いの場を創出し、河川に対する关心を高めることで河川の美化や生態系の保全につながる重要な取組である。県ではこれまで階段や遊歩道、水辺公園といった河川に親しみやすい空間の整備を行ってきた。また今年度からは新たに「賑わい愛されるふるさとの川づくり推進事業」を創設して、魅力ある河川空間を形成するための照明や公園など、市町村が行う整備に対し財政的な支援を行っている。今後も地元市町村からの要望を踏まえ、子供たちをはじめ多くの人々が川に集い、川を愛し、川に親しみを育むことができるよう、親水性のある河川整備を進めてまいります。

## 【吉田教育長】

ライフジャケット着用の啓発について、小中学校においては水の事故から子供の命を守るため、着衣のまま水に落ちた場合の対処の仕方について学習をしている。一方、国土交通省では、毎年、河川での水難事故が多い状況に鑑み、河川での水難事故はライフジャケットをつけていれば防げた可能性があるとして、ライフジャケットの着用を推奨している。県教育委員会では、例年、水難事故が多発する時期の前に、児童生徒や保護者に対する安全指導に関する通知を発出しているが、今後、このライフジャケットの着用についてもこの通知の中で周知をしてまいります。

着衣水泳やライフジャケットの着用体験について、着衣のままでは水中で身動きしづらいことやライフジャケット着用の有用性を教員が実際に体験し、その体験に基づき指導することは、児童生徒が水難事故を回避したり自己の安全を確保したりする上で有意義であると考える。このため来年度から、安全教育を担当する教員等を対象として、着衣での水泳実技やライフジャケットの試着体験を取り入れた研修の実施を検討してまいります。

質問翌日の記事(読売新聞 9月21日 朝刊)

**【花田】**  
今回のアメリカ・ボストン訪問から得られた成果と、それを踏まえた今後の取組について知事にお尋ねする。加えて、今後、日本国内外のスタートアップから、関東圏でも関西圏でもなく、この福岡県が選ばれるためには、世界的なスタートアップ支援機関であるCICの福岡進出は極めて重要であると考える。福岡県でなければならぬという強い説得力を打ち出していくために、CICの福岡進出を機に県はどのように連携していくのか。知事のお聞かせ願う。また、アントレプレナーシップはにも民間企業だけに必要なものというものではない。様々な社会課題に一番接しているのは行政職員の皆様であるので、県職員の中でもアントレプレナーシップは必要だと考えるが、MIT<sup>2</sup>訪問を踏まえた知事の考えをお聞かせ願う。

教育長にお尋ねするが、アントレプレナーシップ教育についてどのような見解をお持ちか。また、福岡県の学校教育において、アントレプレナーシップ教育に繋がる取組は行われているのか。今後の意気込みも含め答弁をお願いする。

\*1「CIC」…ケンブリッジ・イノベーション・センター(アメリカにある、スタートアップ企業等にオフィス空間や管理サービスを提供する起業支援組織。)

\*2「MIT」…マサチューセッツ工科大学(アメリカの私立大学、工科大学では世界のトップとされる。起業では年間900社もの新会社が設立されている。)

## 視察報告

以下は一部概要です。記載外の訪問先や視察で学んだ詳細な情報は、機会を頂けましたらご説明致します。

**農林水産委員会 管内視察 【日程】7月12日(水)～13日(木) 【行先】福岡農林事務所管内(福津市・宗像市・糸島市・福岡市)**

## ●福岡農林事務所 「管内事業の概要について、管内市町村要望」@北筑前普及指導センター

農林水産委員会では県内に6ある農林事務所(福岡・朝倉・八幡・飯塚・筑後・行橋)を管内視察として順次廻り、所長をはじめとする職員からそれぞれの概要説明を受けます。その際、地元の市町村から要望を受けるのが通例となっています。福岡農林事務所は福岡市や糸島市・宗像・玄関地域の17市町が範囲で、総人口が県全体の約50%で大消費地でもあります。一方、経営規模の拡大や所得向上を進めるためには、国内外の産地に対する競争力の更なる強化も必要とされています。

## ●中央畜産保健衛生所 「高病原性鳥インフルエンザの防疫体制について」

令和4年度に県内で発生した鳥インフルエンザの4事例はいずれも福岡農林事務所管内の農場でした。鳥インフルエンザが発生した際の役割としては、遺伝子検査による診断及び発生農場での防疫措置があります。現行の防疫体制としては「発生予防対策」と「まん延防止対策」があり、発生予防としては養鶏農場の衛生指導を強化し(消毒や野生動物侵入防止、専用服と長靴措置など)、まん延防止対策では被害を最小限に抑えるため関係機関と連携した防疫演習(埋却処分や作業者の消毒、鶏の捕獲など)を強化しています。



これらの他に、以下の箇所を視察しました。

●JAむなかた 宗像カントリー・エレベーター 「施設概要について」

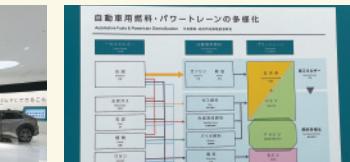
●神湊港～宗像沿岸域漁場 「漁業調査取扱船(けんかん)について」

●株糸島みるくがらんと 糸島工場 「6次産業化による乳製品の製造・販売について」

**地域公共交通・北下道路・洋上風力・JR議連 合同管外視察 【日程】8月29日(火)～31日(木) 【行先】愛知県**

## ●トヨタ自動車㈱ 本社工場 「FCテクノロジーや水素事業について」

日本が世界に誇るトヨタの本社工場を訪問しました。カーボンニュートラルの実現に貢献するため、FC(燃料電池)システムのサプライヤーとして水素活用の促進を目指した取り組みが進められています。中でも、汎用性の高いFCモジュールや安全性と有用性を備えたH2タンクといったFCテクノロジーへの開発や投資の規模は、もはや自動車メーカーの域を超えた高度な社会実現への覚悟のようなものを感じました。地元にトヨタ自動車九州の本社がある私にとっては改めてその重きを認識し、県としての水素事業の更なる展開も期待しました。



これらの他に、以下の箇所を視察しました。

●愛知新エネルギーパーク (田原臨海風力発電所) 「臨海発電所及び沖合の洋上風力発電計画海域について」

●中部国際空港連絡橋 (セントレア橋) 「愛知県有料道路 コンセッションについて」

**アメリカ合衆国 ボストン・ニューヨーク視察 【日程】10月15日(日)～20日(金) 【行先】マサチューセッツ州・ニューヨーク州**

服部知事や香原議長をはじめとする県議のほか、九経連会長や九州大学総長、地元のバイオベンチャー企業の方々に加え、新聞記者も随行した総勢約50名の訪問でした。私もその内の一人として参加した主な理由は、大学生時にアントレプレナーシップ教育にご縁があったことや、農林水産副委員長として八女茶のプロモーションについて学びたかったからです。



これらの他に、以下の箇所を視察しました。

●マサチューセッツ州政府 [モーラ・ヒリー知事、イボン・ハオ経済長官との面会・意見交換]

●在ボストン日本国総領事館 「Fukuoka Innovation Night」 [鈴木光太郎 在ボストン日本国総領事、現地VC・日本人会らとの交流会]

●Mass Bio (マス・バイオ) [ベン・ブラッドフォード 涉外部との意見交換]

●レクリエーションセンター (NJKグレスキル) [ベン・オメロフ監督と意見交換]

## ●日本茶専門店 「KETTL」 / 八女茶プロモーション (ペアリング試食会)

ニューヨークで八女茶を取り扱う日本茶専門店「ケトル」を訪問し、創業者のザック・マンガン社長から品質の維持や国民からの評価についてお聞きしました。また、その日の夜には、メディア関係者やインフルエンサーを招いた八女茶とヴィーガン料理のペアリング試食会が行われ、八女茶(日本茶)がさらに海外の飲食店で取り扱われるに期待を持ちました。



## ●日本茶専門店 「KETTL」 / 八女茶プロモーション (ペアリング試食会)

ニューヨークで八女茶を取り扱う日本茶専門店「ケトル」を訪問し、創業者のザック・マンガン社長から品質の維持や国民からの評価についてお聞きしました。また、その日の夜には、メディア関係者やインフルエンサーを招いた八女茶とヴィーガン料理のペアリング試食会が行われ、八女茶(日本茶)がさらに海外の飲食店で取り扱われるに期待を持ちました。

## ●立山科学㈱ 「女性の活躍推進・働きやすい職場環境づくりの取組みについて」

富山市にて抵抗器をはじめとする電子部品やFAシステム、ソフトウェアなどを製造している立山科学では、女性社員の割合が低いからこそ女性自身が「何をやみたいか、どうなりたいか、チャンスを得る行動とは?」ということを考え実践されていました。それぞれのライフスタイルに応じて個々の能力を最大限発揮する短時間勤務や時差出勤といった制度が整っており、産休・育休からの復帰率は100%だそうです。また、男性の育児休業取得も同様に推進しており、2022年度の取得率は41%(前年度は14%)と上昇傾向にあるそうです。



これらの他に、以下の箇所を視察しました。

●いしかわ子ども交流センター (公益財団法人いしかわ結婚・子育て支援財団) 「結婚・子育て支援の取組について」

●丸文通商㈱ 「男性の育児休業取得推進の取組について」

**農林水産委員会 管外視察 【日程】11月15日(水)～17日(金) 【行先】静岡県**

## ●JAみっかび 「みかんの生産におけるスマート農業の取組みについて」

浜松市の「三ヶ日みかん」の柑橘選果場を見学しました。総事業費は約80億円で、延床面積は22,411m<sup>2</sup>と世界最大級です。三ヶ日みかんは他県に比べて単価が上昇傾向であります。供給量が不足しているため需要に応じた生産を目指されています。荷受けから選果・出荷までのラインのはどんなどを自動化することで、日本国内最高クラスの一目あたり500トン超の処理能力があります。また、AI選果機の導入によって選果精度の向上、選果に対する作業時間の削減も実現しています。

